

かづの水稲直播通信 令和2年7月28日

令和2年度第4号 発行：鹿角地域振興局農林部農業振興普及課

草丈平年並、茎数やや少なく、葉色平年並

～ 生育は平年よりやや遅れ気味 ～

葉色が淡いほ場では減数分裂期の追肥を！

1 生育状況（7月27日現在）

表1 7月27日 淡雪こまち水稲直播調査結果（平年値、前年値は7月25日調査）

	草丈	茎数	葉数	葉色
	cm	本/m ²	葉	SPAD値
本年値	66.3	469	10.9	35.4
平年値	66.9	500	10.6	35.4
前年値	62.0	522	10.6	34.3
平年比・差	99%	94%	+0.3	100%
前年比・差	107%	90%	+0.3	103%

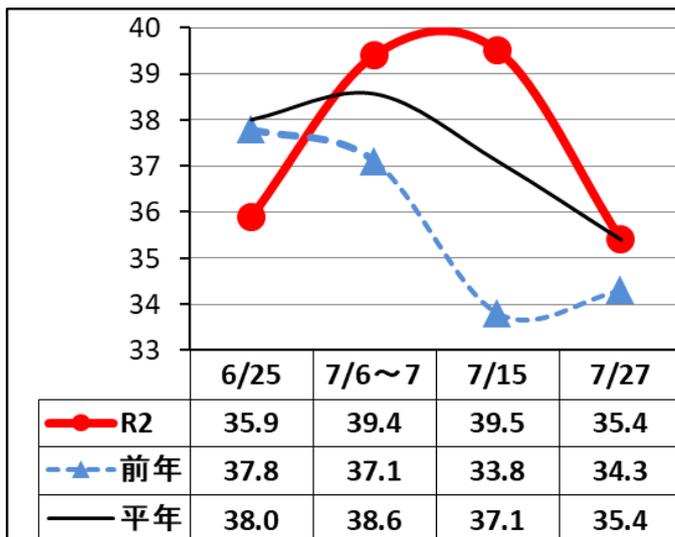


図1 葉色の推移（6月25日～7月27日）

○本年は、平年（7月25日頃）より2日遅く生育調査を実施しました。

7月27日現在の水稲直播栽培ほ場（淡雪こまち：8カ所）は、草丈は平年比99%、茎数は平年比94%、葉数は平年差+0.3、葉色は平年比100%の生育状況でした。

○葉色は、前回調査時（7月15日実施）には39.5（平年比106%）と平年より濃くなりましたが、7月15日から27日にかけて葉色は低下し、27日現在で平年並となりました。

○生育の早いほ場は、7月28日前後に減

数分裂期に達すると見込まれ、8月9日前後には出穂期に達すると推定されます。

また、全般的には7月31日頃に減数分裂期、8月12日前後には出穂期に達すると推定されます。

○追肥が可能なほ場では、減数分裂期頃を実施してください。

2 水 管 理 ～湛水管理の徹底でカドミ対策～

- カドミウム吸収抑制対策として、湛水管理を行います。
- ポイントは、湛水で田面が空気に触れないようにすることで還元状態に保ち、カドミウムの溶出を抑えることです。

3 病害虫防除

1) いもち病（穂いもち）

- BLASTAMIによる葉いもち感染好適条件の予測では、7月20日以降、鹿角地域内において、いもち病に感染しやすい日が確認されています。管内の一部ほ場では、葉いもちの発生が散見されています。出穂前後の穂いもち防除を徹底しましょう。
- 葉いもちの発生が確認されるほ場では、出穂7～15日前にコラトップ粒剤5を散布するか、出穂直前と穂揃期に予防剤（ラブサイド剤またはビーム剤）の茎葉散布を行います。

2) 斑点米カメムシ類

- 薬剤防除は出穂期10日後頃（スタークル剤）と出穂期24日後頃（キラップ剤）の2回防除を基本とします。
- 農道・畦畔の草刈りは出穂10～15日前を目安に一旦終了し、**出穂10日後頃の1回目の薬剤防除の後（遅くとも1週間以内）に、農道・畦畔の草刈りを1度行います。**これにより、散布した薬剤の効果を高め、効率のよい防除ができます。その後は収穫2週間前（9月上旬）まで草刈りを中断してください。（下図参照）

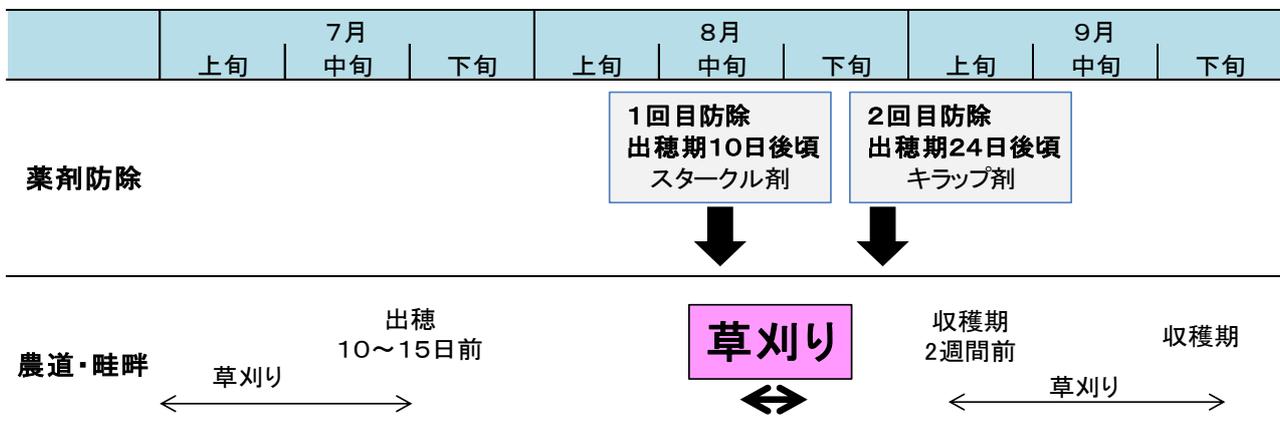


図 斑点米カメムシ類の薬剤防除と耕種的防除